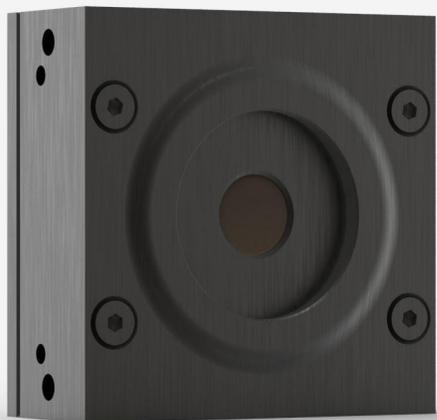


## UP10K-2S-H5-L-D0

最大2 Wまでのレーザー出力測定用サーマルディテクタ。



### プロダクトファミリーの主な特長

#### 低パワーサーモパイル

広帯域を持つフォトディテクタのノイズレベルと、サーマルデバイスのハイパワー能力

#### IRフィルタ (UPF10モデル)

不要な赤外線干渉を除去

#### 高パフォーマンス

- 早い立ち上がり時間 (1.1秒)
- 高損傷閾値 (36 kW/cm<sup>2</sup>)

#### コンパクトデザイン

たった13 mm の厚さ (UP10P モデル)

#### エネルギーモード

最大3 Jのシングルショットエネルギーを測定

#### スマートインターフェース

すべての校正データを收容

#### 互換性のあるスタンド

[STAND-S-233](#)

## 仕様

### 測定性能

最大平均出力 (連続)	2 W
ノイズ等価出力 <sup>1</sup>	30 μW
スペクトル領域 <sup>2</sup>	0.193 - 20 μm
標準上昇時間 <sup>3</sup>	1.1 s
出力校正不確か率 <sup>4</sup>	±2.5 %
繰り返し性	±0.5 %

1. 公称値。実際値は測定システムの電氣的ノイズに応じて異なります。
2. 校正済みスペクトル域については、ユーザーマニュアルを参照してください。
3. 予測付。
4. 出力による線形性を含む。

### 測定性能 (エネルギーモード)

最大測定可能エネルギー <sup>1</sup>	3 J
ノイズ等価エネルギー <sup>2</sup>	5 mJ
最小繰り返し期間	2 s
最大パルス幅	63 ms
エネルギー校正不確か率 <sup>3</sup>	±5 %

1. 360 μsパルス用。長パルス (ms) により高いパルスエネルギー、短パルス (ns) により低いパルスエネルギーが可能。
2. 公称値。実際値は測定システムの電氣的ノイズに応じて異なります。
3. 単発エネルギー校正をお求めの場合

### 損傷閾値

最大平均出力密度 <sup>1</sup>	36 kW/cm <sup>2</sup>
最大エネルギー密度 <sup>2</sup>	1 J/cm <sup>2</sup>

1. 1064 nmで、10 W CW。May vary with wavelength and average power.
2. 1064 nmで、7 ns、10 Hz。損傷閾値はパルス幅によって異なります。さまざまなパルス幅の損傷閾値については、製品検索を使用するか、Gentec-EOにお問い合わせください。

### 物理的特徴

冷却	対流
----	----

開口直径	10 mm
吸収材	H5
寸法	50H x 50W x 21.5D mm
重量	0.193 kg
注文情報	
UP10K-2S-H5-L-DO	202872
UP10K-2S-H5-L-IDR-DO	203317
UP10K-2S-H5-L-INT-DO	203035

仕様は予告なく変更される場合があります。仕様の全容については、ユーザーマニュアルを参照してください。

## 本製品にご興味をお持ちですか？

見積をリクエスト

[gentec-eo.com/ja/contact-us](https://gentec-eo.com/ja/contact-us)で最寄りのセールス担当者をお探してください